



## 現地校の新学期スタート

### 現地校と補習校の両立に向けて

今週月曜日から、現地校の新学期が始まりました。新学期に備えて、お子様と学用品の準備に走り回られたり、オープンハウスで学校を訪問されたり、新学期が始まるまでは、ご家庭では多忙な日々を過ごされたことと思います。

日本の学校と違い、入学式や始業式もない現地校の初日の登校風景がテレビ画面を通して映し出されていましたが、初めて現地校の学校生活が始まった子どもたちはもちろんのこと、新たに進学し、進級したどの子どもたちにも、学校生活への期待と不安が入り混じった緊張したスタートだったことでしょう。「学校の新学期当初は、子どもが泣きながら現地校へ行く姿を見るのがつらかったですが、今は、楽しみながら現地校へ行く姿に救われています」とは、何人もの保護者からお聞きした話です。



同時に、補習校に通う子どもたちには、現地校と補習校の学習の両立が始まります。慣れない言語の中で現地校の授業を受け、日本の学校生活と異なる学校生活を送り、多くの宿題や課題に追われながら過ごす毎日の生活の中で、同時に母語による補習校の学習を続けるには、やはり、「どうして土曜日に補習校で学習を続けるか」子どもなりに補習校で学習することへの理解と納得が必要です。しばらくは、緊張した日々が続くことかと思えます。友達とはしゃべりづらい、思うように気持ちが伝わらない、学級や学校のシステムが分からない、授業が分かりにくい…



小1「朝の読書」風景

急にシクシクしたり、原因不明の頭痛や腹痛、口数が減る、怒りっぽくなる、学校の話をしなくなる、眠れていない等々の黄信号……子どもが抱えるストレスがないか、この時期、しばらく様子を見ていただきたいと思えます。現地校と補習校の両立が始まる今、子どもたちの心に沿って「そうなの」と受け止める共感の心と励ましの言葉が必要です。補習校では、子どもたちの補習校生活で特に気づくことがあると、担任からお知らせいたしますし、皆様方からもご相談がございましたら、遠慮なく担任や教育相談(校長・秋山主任)までお知らせください。

#### 「文芸作品コンクール応募作品」ダイジェスト版 作成

今年も海外生活を題材にした子どもたちの豊かな感性が随所に見られる作品(作文・詩・俳句・短歌)が多くあります。応募すると作品が返却されないことから、ダイジェスト版を作成し、全応募作品を掲載しています。冊数に限りがありますが、保護者朝礼室に置いています。ご覧下さい。